

フィリピンの台風被害に対する
自衛隊の対応について

25. 11. 12
防 衛 省

現地情勢

【被害状況】

- ◇死者:1774名(国会災害対策本部発表:報道)
- ◇被災者数:フィリピン全土で約970万人
(国家災害リスク削減管理委員会)
- ◇倒壊家屋:23190戸(うち全壊13473戸)
- ◇タクロバン空港は一部民間機の発着可(報道)
- ◇邦人被害に関する情報なし

【フィリピン政府の対応】

- ◇国連人道問題調整事務所(OCHA)から申し出のあった国際社会からの支援を受け入れることを確認
- ◇比軍C-130輸送機2機、ヘリ32機、艦艇20隻で救援活動中
- ◇セブ及びタクロバンに国際支援受入調整所を設置中
- ◇11/10 アキノ大統領、被災地視察(タロンバン、セブ)
- ◇11/11 アキノ大統領、「国家災害宣言」を発出



自衛隊の活動予定

- ・ 医療チーム要員を含む50名のうち2名が本日、民航機にてマニラに入る予定。
- ・ 残りの要員(48名)については早ければ明日に出国予定。民航機または自衛隊機(KC-767)の使用を追求。

行動命令の概要

11月12日(火)のフィリピン政府からの要請を受け、外務大臣から自衛隊の部隊等による国際緊急援助活動への協力を求めるための協議があった。防衛省においては、自衛隊の部隊等の派遣により効果的な活動を行い得ると判断して、上記協議に応じ、以下の部隊を編成して活動を実施。

(1) フィリピン国際緊急援助隊

- 編成完結日：平成25年11月12日(市ヶ谷)
- 基本任務：被災状況に関する情報収集、フィリピン共和国関係機関、関係国等との調整、活動地域における医療活動及びその他国際緊急援助活動に必要と判断される事項
- 活動地域：フィリピン共和国
- 定員：約50名
- 編成管理官：統合幕僚長

(2) 空輸隊等

- 基本任務：
 - ・空輸隊
所要に応じたフィリピン国際緊急援助隊の本邦からフィリピン共和国までの間の航空輸送
 - ・整備隊
航空機の故障等の修復
 - ・運航支援隊
目的地における空輸隊に対する運航支援
- 定員：約50名
- 主要装備定数：輸送機KC-767×1機及び輸送機C-130H×1機
- 編成管理官：航空支援集団司令官